

GOLDEN WEEK ゴールデンウィーク

コロナ禍で迎える2度目のGW どう過ごす??

森松マンの予定は？

県内の**自然を満喫**します。新城の山、まだ泳げませんが海も行きたいですね。そして自宅では部屋の片付けと読書、あと観れてない**海外ドラマ**も1シーズン一気に観終えたいですね! (森)

筋トレ (加藤俊)

冬の間に増加した体重を少しでも減らせるよう、

ランニングしたいと思います! (三浦)

これを機に**断捨離!** (則武)

家にもって狩りしまくりです (**ゲーム**) (大脇)

こんな状況ですからね。巣ごもり!? **アマゾンプライム**で

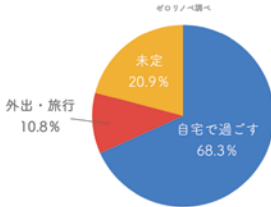
ビデオさんまいかな?あと近場を**サイクリング**と

眠っている**バイク**の修理くらいですね。(安井)

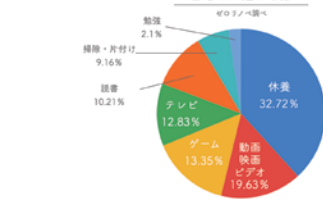
溜まった**録画**の消化、あとは引越しの片付けをします。(間部)



2021年ゴールデンウィークの過ごし方

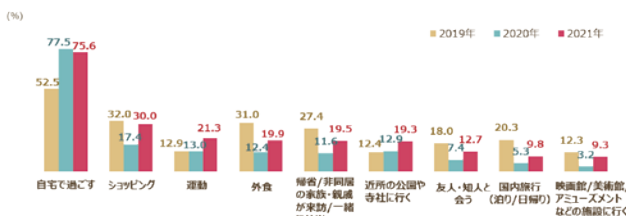


自宅での過ごし方



出典：「ゼロリノベ調べ」(URL=https://www.zerorenovation.com/)

●2021年GWの予定 - 過去2年の過ごし方との比較



出典：「インテージ 知る Gallery」2021年4月15日公開記事

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、外出や人との接触を避けようとする傾向があります。経済活動が再開されたかと思うと、また感染増加によって自粛が求められたり、制限の強化と緩和の繰り返しの中で、多くの方が自宅での過ごし方について見直すきっかけになったのではないのでしょうか。

どう受け止めるか

森 直樹 (代表取締役社長)



先日、こちらの波紋にて参加を告知しました 100 マイルランニングレース、UTMF (ウルトラトレイル・マウントフジ) ですが、3/17に現在のコロナ禍を鑑みてレース中止が発表されました。こういった状況下、致し方ない判断であったと思います。レースという場合は今年は失われましたが、また次のチャンスが巡って来たときには、即対応出来るように自身の体調管理に努めてまいります。困難な状況はこのコロナ禍に限らず、仕事、人生において絶え間なく訪れます。大切なのは、すでに起こった事は変えることは出来ませんが、「どう受け止めるか」は自分自身が決めることです。「ピンチはチャンス」とモーリン語録にも有ります。困難を困難と受け止めることは当たり前ですが、それを乗り越えた先には自身を成長させる何らかのプラスが有る、と考えればただ悲観するだけということは無いです。前向きに受け止めることにより、困難を乗り越えるためのアイデアや、新たな発見が生まれるかもしれません。もちろん決して簡単なことでは無いですが、自身の受け止め方を考えることで、自分のトラブルに対する反応も変われば、その後の結果もまた変わってきます。また些細なことでも、なにか気分を害するような事に遭遇した際にもどう受け止めるかでそのことを「ただのツイてない事件」ではなく「新しい気付き」と捉えて活かすことも出来るでしょう。肝心なのは、自身の受け止め方です。

三十数年ぶりに

光田 昭男 (営業部)



養老公園の養老の滝へ行ってきました。三十数年ぶりなので、どんな公園だったのかは覚えておらず、初めて行く気分で行って来ました。ゴルフでは、近場の関ヶ原カントリーへは行くことはあったのですが、近いから何時でもいけるだろうと思い、行くことは無かったのですが、近場にとっても良い環境があることに驚きました。三十年前にはそんなことを思う余裕も無かったのでしょうか。メインである滝までは、そんなに遠くはないだろうと思っていましたが、公園駐車場から 1.2 キロとの案内があり、簡単に考えて登り始めたのですが、登りの 1.2 キロはとても気持ちがいいとは思えないほどの有酸素運動を味わいました。案内では七つの橋があったのですが、私が渡った橋は三つの橋で、紅葉橋、万代橋、みゆき橋、橋の近辺では、私より年上の男性陣が、望遠レンズの本格的なカメラで撮影されており、野鳥撮影のスポットでした。小さな橋なのですが、約 15 名位が陣取っており、服装は迷彩柄で、マスクも迷彩柄で統一されているのに驚きました。野鳥が飛んでいるのは確認できました。お父さん方の撮影姿を後に、もう少しで滝に到着。約 30 分の登りを味わい、とても綺麗な滝を見ることが出来ました。高さ約 30m、幅約 4m、日本の滝百選に選定されているようです。1 分ほどですが滝を味わい、下る途中では人がいないことを確認しながらマスクを外し、とても心地が良い川の流れる音と森林浴を味わい、とても気持ち良かったです。今回は他に予定があり、時間が無く一度も休憩をすることもなく頑張りました。駐車場でのトイレでは、太ももがヒクヒク、ピクピクで、衰えを感じてしまいました。色々なことを思い考えると、年齢を感じての良い散歩でした。次回は、ゆっくり出来るように準備をしていこうと思います。

新居から 4 年半…念願の夢の「My Room」

伊東 郁二 (特販部)



我が家は、キッチン兼リビングを生活の基盤としている。嫁いだ娘 2 人も 20 分圏内にいることから、休日にもなると義母家を含み 12～13 人が集まる。認知症の母親にとっては、最高のリハビリの時間となっている。薬で進行を抑えてはいるが、孫でも 2 日見ないと、はじめは解らないほどである。在宅時には、残念ながら自室を作るスペースがなく、リビングでの仕事となる。生活基盤となっているので、TV の音量を下げて見てもらい、電話の時は静かにしてもらおうなど、お互いが気を使いながらやってきた。嫁と話をし、「鰻の寝床の様な 4 畳半部屋」を整理し、私の部屋にすることにした。この部屋は、引っ越しの際、物が捨てられない母親を尊重し最優先して持ってきた家具と洋服・着物が入った収納ケース・私のクローゼット部屋として使用していた。片付けの決行日、娘の里奈に半日間母親を連れだしてもらい、その間に母親の部屋の不要物を捨て、新たに母親の荷物を設置、家具などの不要物を廃棄した。母親の部屋は、雰囲気は似せて綺麗に整理整頓をしてみたら気付くに決まっている。しかし何と、帰宅後に自分の部屋に入った母親は、まったく気が付いていない。完全犯罪が成立した。一安心だ。しかし、そんな母親を目の当たりにし、「ホッ」とすると共に、大切であったらう使っていない家具を処分した「罪悪感」と気付かない「ショック」とが入り混じった気分であった。それは、今までに経験したことのない、言葉では言い表せない気分だったことは忘れない。日を改めて、「念願だった自分の部屋」を片付ける。「100 均」で小物を、「ネット」で机と疲れな椅子を、「ニトリ」でカーテンと突っ張り棒を購入して、クローゼットとの間仕切りをして「夢のお城」を完成させた。家族に気兼ねせず集中出来る城、「もっと早く作ればよかった…」と思った。用事もないのに何度も城へ入る姿を見て、「そんなに嬉しいの」と嫁が笑う。「別に」と言いながら「ウキウキ気分」を抑えて城に入る自分がある今日この頃です…。



テストする女性誌 LDK

大和田 由美 (営業部)



買い物をする時に、商品の口コミを参考にすることが当たり前になりました。ネットでの買い物は、当然のことですが、飲食店にしても、はじめて行くお店は、必ずお店の口コミ等を確認しています。口コミを100%信用している訳ではありませんが、あくまで参考意見としてですが…。最近ではネットでの口コミが、「やらせレビュー」の書き込みもあるようです。「購入した商品を星4つ、または5つのレビューを書いた方に500円のギフト券をプレゼント、写真またはビデオ付きの星4つ、5つのレビューを書いた方に1,000円のギフト券をプレゼント」と購入した商品と一緒にチラシも入っているそうです。ギフト券もらえるって、商品が悪くても高評価するじゃないかと？やらせレビューの見分け方を紹介します。①星の分かれ方をチェック - 星の数が多い“高評価”と、少ない“低評価”の両方が極端に多い場合、やらせレビューが多く紛れている可能性が高いといえます。②日本語がおかしい - レビューの日本語が不自然な場合、翻訳アプリを使って海外の業者が書いている可能性が考えられます。③一つの日付に投稿が集中している - 同じ日付にレビュー投稿が集中しているのは、やらせレビューにありがちなケースです。やらせレビューを書かせる業者が発注した日、もしくは商品の発売日に集中して投稿していると考えられます。④レビューの文字数がほぼ一緒 - “100文字以上”などのように文字数を指定して、やらせレビューを依頼する業者も多くいます。指定より多い文字数で書いても得にならないため、レビューは同じような長さになりがちです。信頼性の高い情報を求めてか、広告や口コミだけじゃない生活雑誌「LDK」毎月20万部売れている雑誌があります。雑誌なら必ずあるはずの「広告」が、LDKにはありません。「テストする女性誌」といううたい文句通り、家電や調理器具、掃除道具など暮らしにまつわるさまざまなモノの使用感や品質などをテストした結果を紹介しています。お勧めです。LDK【<https://the360.life/>】

創部2年目で全国大会へ

山口 和也 (製造部)



2018年にスポーツ庁から中学校部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが公表されました。主な内容は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度とするというものです。これでは、スポーツに真剣に取り組もうとしている中学生には、物足りないことになるであろうとの思いから、同年に中学生を対象とした野球チームを立ち上げました。ところが、一年目はチームスタッフの編成を誤り選手1名監督1名の、なんとも悲惨なスタートになってしまいました。この大失態を受け、2年目はスタッフの総入れ替えを行い選手集めに本腰を入れ、なんとか12名の入部者があり13名で活動が出来るようになりました。ちなみに今シーズンは、中学1年生16名の入部者があり中学生29名・小学生35名で併せて64名と大所帯のチームになりました。集まってくれた中学生13名で、いろいろな大会に参加して、今年2月に愛知県予選に優勝。創部2年にして、まさかまさかの全国大会へ出場することになりました。中日新聞に掲載されたこともあり、多くの方々から激励をいただき、まさに地獄から天国へという感じでした。5月2日から4日の3日間に東京で開催される大会に13名の選手たちと参加する予定です。勝っても負けても、笑顔で戦ってくれることを期待しています。





南雲 彩 (経理部)

雲南省だより No.2

世界的に有名な雲南大理



雲南省の中央に位置する大理盆地は8世紀から13世紀まで、南詔国ついで大理国という少数民族の王国が都を置いて雲南全体を治めていました、その栄光ある民族がペー族(白族)です。白色を好み自らを「白い人々」と呼ぶペー族の9割(160万)は大理盆地に暮らしています。標高が約2,000メートルの高原で、西側は19の連峰からなる蒼山が遮り、東側は耳の形をしている「洱海(アルハイ)」と呼ばれる湖が横たわっています。緯度で見れば沖縄よりも南になるが、夏の平均気温は20℃余りで、冬は零下になることがほとんどない温暖な気候です。そして1年の温度差は少ないが、1日の寒暖差が大きいのが特徴です。水、山と気候に恵まれ、梅、ワサビ、お茶など日本人がよく知っている農産物もできます。この地方で大切な客人をもてなすためのお茶を三道茶といいます。三杯出されたお茶に、一苦・二甜・三回味という言葉に集約されていて、人生を表しています。一杯目は(苦茶)人生のつらさと厳しさが表される苦いお茶(太田胃散を思い出す苦い味)。二杯目は(甜茶)人生の喜びが表される甘いお茶(水飴のような味だが奥が深く、お茶にはバター(乳扇)、くるみ、黒砂糖が含まれている)。三杯目は(回味茶)人生の最後につらかったこと、楽しかったことが籠った思い出でのお茶(シナモンの香りがよく効いている)。チベット、イランやアラビアから大理近郊移住してきたイスラム(回族)の影響もあり、ペー族の食卓にはバターやチーズなどの乳製品が溢れています。その中で乳扇と呼ばれるペー族固有のカテージチーズは有名で、干した状態が扇のよう、薄い皮は半透明の黄白色で「湯葉」にそっくりです。観光地の大理古城では、割りばしなどに巻き付けて焼かれたものが屋台でよく売られています。

大理盆地では植物を用いた天然藍の染料が製造され、清代後半から当地の特産品として絞り藍染めが今でも有名です。手仕事の「絞り」の技と藍染めが、美しい布を生み出し、人気な観光お土産になり、20世紀後半からは、有松絞と似たような絞り藍染めを好む日本との貿易も拡大してきます。雲南の観光業がどんどん発展してきて、雲南にいま旅行に行くなら、まず大理の美しい風景と美食を推します。

知っているようで知らない言葉

三浦 正之 (東京オフィス)



昔は無かったのに、今では当たり前のように使われている新しい言葉が普段の生活やビジネスの中にたくさんあります。今回は聞いたことはあるし、見かけたこともあるが、よく理解していない最近の言葉について調べてみました。「サブスク」…サブスクリプションサービスの略語。「月額課金」・「定額制」という方がなじみ深いかもしれません。これは動画や音楽の配信サービスでよく使われています。ほとんどの場合、一定の金額で、1カ月、6カ月、1年などの期間に配信されている映画が観放題になったり、音楽が聴き放題になったりします。「サステナビリティ」…英語では持続可能性という意味になるようです。ビジネスシーンでは“環境・社会・経済の観点からこの世の中を持続可能なものとする考え方”を指します。環境保護活動での分野でも使われることが多く、企業としては利益だけでなくこのサステナビリティを意識した活動が昨今求められています。近い意味の言葉に「CSR」という言葉があり、ほぼ同義として使われることもあります。これは、企業が利益を追求するだけでなく、その活動が世の中に影響を与えることに責任を持った上で、消費者や社会全体からの要求に答えることを指します。「ダイバーシティ」…ビジネス・経営・人事といった話題において「雇用する人材の《多様性》を確保する」という概念や指針を指す意味で用いられる。「エビデンス」…「証拠」「裏付け」「科学的根拠」あるいは「形跡」といった意味で用いられる。「●●マター」(営業部マター、個人名+マターなど)…英語では「物質」「成分」「事件」「問題」という意味のようです。日本のビジネスシーンでは「担当」を意味し、担当者、担当部門、担当会社を示すときに使われます。担当というだけでなく「責任を負う」「決定権を持つ」といったニュアンスも含まれます。これらはまだ一部ですが、日々新しい言葉が生まれ、ビジネス・生活の中に浸透していきます。個人的にはわざわざ意味を調べなきゃならない言葉なんて…と考えますが、「スマホ」なんて言葉も身近にあるからか、今では当たり前のように使われています。これからも生まれてくる新しい言葉、何が当たり前のように定着していくのか、時代に取り残されないよう常にアンテナを張っていきたいと思います。